

2018年3月期 第1四半期連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

◆高周波部品の一部事業譲渡影響を既存事業で吸収

- 売上は前年同期比3.8%増、営業利益は5.5%減
- 自動車及び産業機器市場向け販売が好調に推移し、受動部品・電源製品の収益が向上
- HDD市場は期初想定並みで堅調に推移
- 二次電池はモバイル用途向けや新規アプリケーション向けの販売拡大が継続し増収増益を確保

◆センサ事業の中・長期成長に向けた事業基盤整備完了

- 4月に分散していた組織を統合し「センサシステムズビジネスカンパニー」を新設
- 5月にインベンセンス社の買収が完了
- 収益拡大をめざし成長戦略施策の実行開始

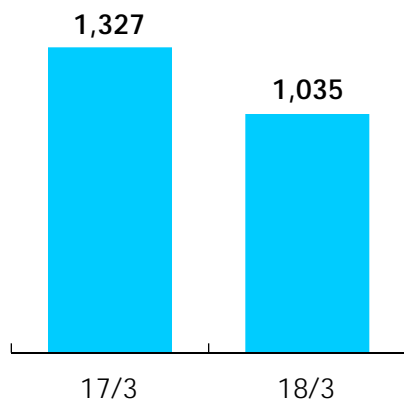
2018年3月期 第1四半期連結業績概要



(億円)	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	2,788	2,895	107	3.8
営業利益	165	156	△9	-5.5
営業利益率	5.9%	5.4%	-0.5 pt	-
税引前利益	164	169	5	3.0
当期純利益	124	110	△14	-11.3
1株当たり利益	98.32	86.80	-	-
為替	対ドルレート	108.37	111.16	2.6%の円安
	対ユーロレート	122.41	122.02	0.3%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約40億円の増収 営業利益：約11億円の増益			

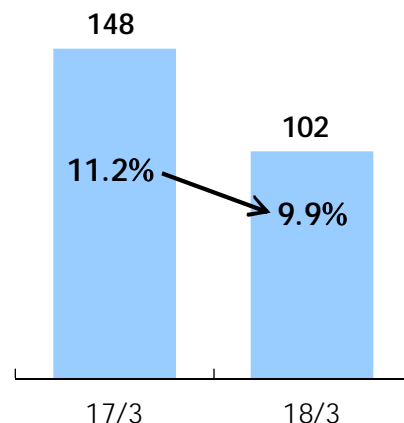
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 1,035億円（前年同期比22.0%減）
営業利益 102億円（前年同期比31.1%減）

●セラミックコンデンサ

- ・前年同期比で増収増益。
- ・自動車市場向け、白物家電向け販売が増加。

●インダクティブデバイス

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・自動車市場向け、産業機器向け販売が増加。

●高周波部品

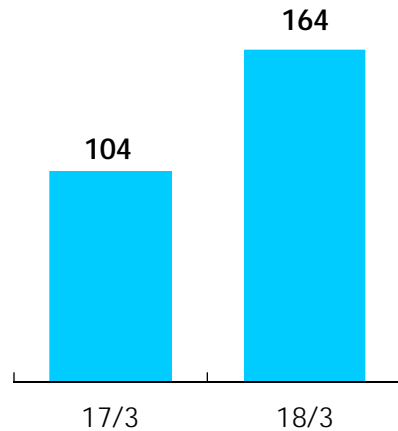
- ・一部事業譲渡の影響により前年同期比で減収減益。

●圧電材料部品

- ・前年同期比で増収増益。
- ・カメラモジュール用VCMの販売が増加。

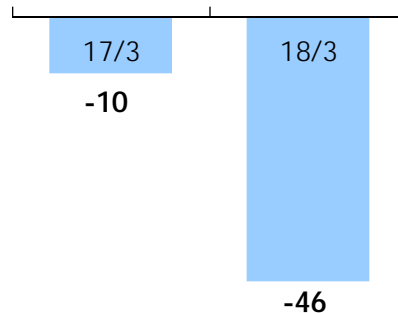
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



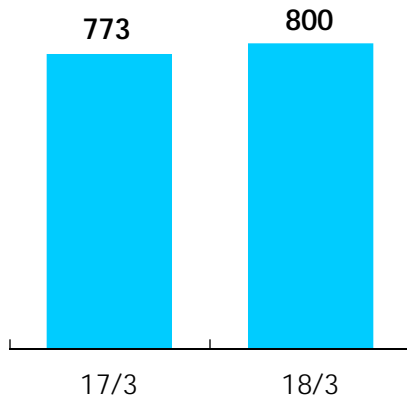
売上高 164億円（前年同期比57.7%増）
営業利益 △46億円（前年同期比一%減）

●センサ

- ・5月に買収完了のインベンセンス社の売上が連結され前年同期比で売上増。
- ・自動車市場向け温度・圧力センサ、磁気センサの販売が前年同期比で増加。
- ・営業利益は、インベンセンス社の買収関連費用等の計上で赤字拡大。

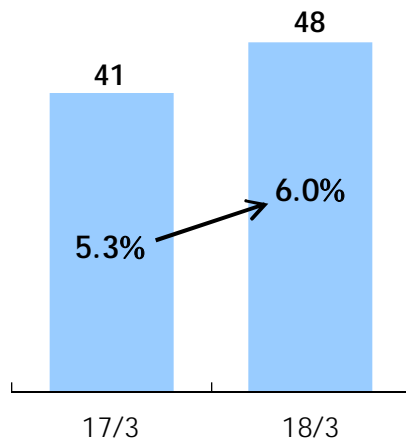
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 800億円（前年同期比3.5%増）
 営業利益 48億円（前年同期比17.1%増）

●HDDヘッド

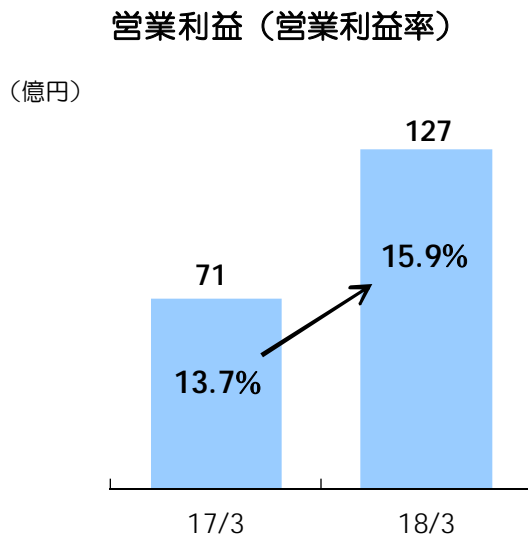
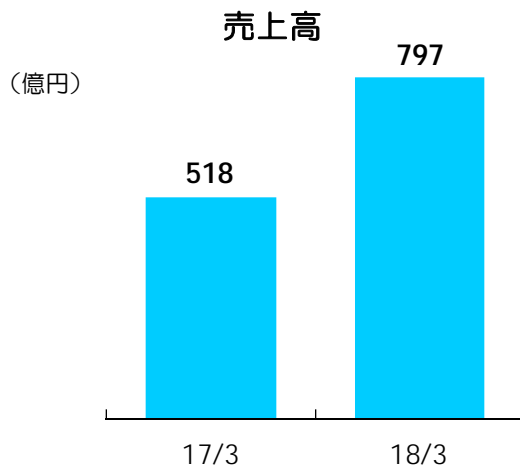
- ・売上は前年同期比で減少。
- ・サスペンションはHTI社買収により売上増。

●マグネット

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・風力発電、産業機器、白物家電等の用途向けで売上増。

●電源

- ・産業機器市場が好調に推移し前年同期比で増収増益。
- ・半導体製造装置、ロボティクス関連用途向け等が好調。



売上高 797億円（前年同期比53.9%増）
営業利益 127億円（前年同期比78.9%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- ・前年同期比で増収増益。
- ・モバイル用途向けの販売が堅調に推移。
- ・ドローン、ゲーム機等の新規アプリケーション向けの販売も拡大。

セグメント別四半期実績



(億円)		2017年3月期 第1四半期 (A)	2017年3月期 第4四半期 (B)	2018年3月期 第1四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	344	350	363	19	5.5	13	3.7
	インダクティブデバイス	357	376	376	19	5.3	0	0.0
	その他受動部品	626	407	296	△ 330	△ 52.7	△ 111	△ 27.3
	受動部品合計	1,327	1,133	1,035	△ 292	△ 22.0	△ 98	△ 8.6
	センサ応用製品合計	104	115	164	60	57.7	49	42.6
	記録デバイス	559	630	567	8	1.4	△ 63	△ 10.0
	その他磁気応用製品	214	229	233	19	8.9	4	1.7
	磁気応用製品合計	773	859	800	27	3.5	△ 59	△ 6.9
	フィルム応用製品合計	518	544	797	279	53.9	253	46.5
	その他	66	92	99	33	50.0	7	7.6
合計	2,788	2,743	2,895	107	3.8	152	5.5	
営業利益	受動部品	148	1,467	102	△ 46	△ 31.1	△ 1,365	△ 93.0
	センサ応用製品	△ 10	△ 22	△ 46	△ 36	-	△ 24	-
	磁気応用製品	41	△ 73	48	7	17.1	121	-
	フィルム応用製品	71	50	127	56	78.9	77	154.0
	その他	△ 15	△ 22	3	18	-	25	-
	小計	234	1,400	235	1	0.4	△ 1,165	△ 83.2
	全社および消去	△ 69	△ 82	△ 79	△ 10	-	3	-
	合計	165	1,318	156	△ 9	△ 5.5	△ 1,162	△ 88.2
営業利益率	5.9%	48.0%	5.4%	-0.5 pt	-	-42.6 pt	-	
為替	対ドルレート (円)	108.37	113.85	111.16				
	対ユーロレート (円)	122.41	121.25	122.02				

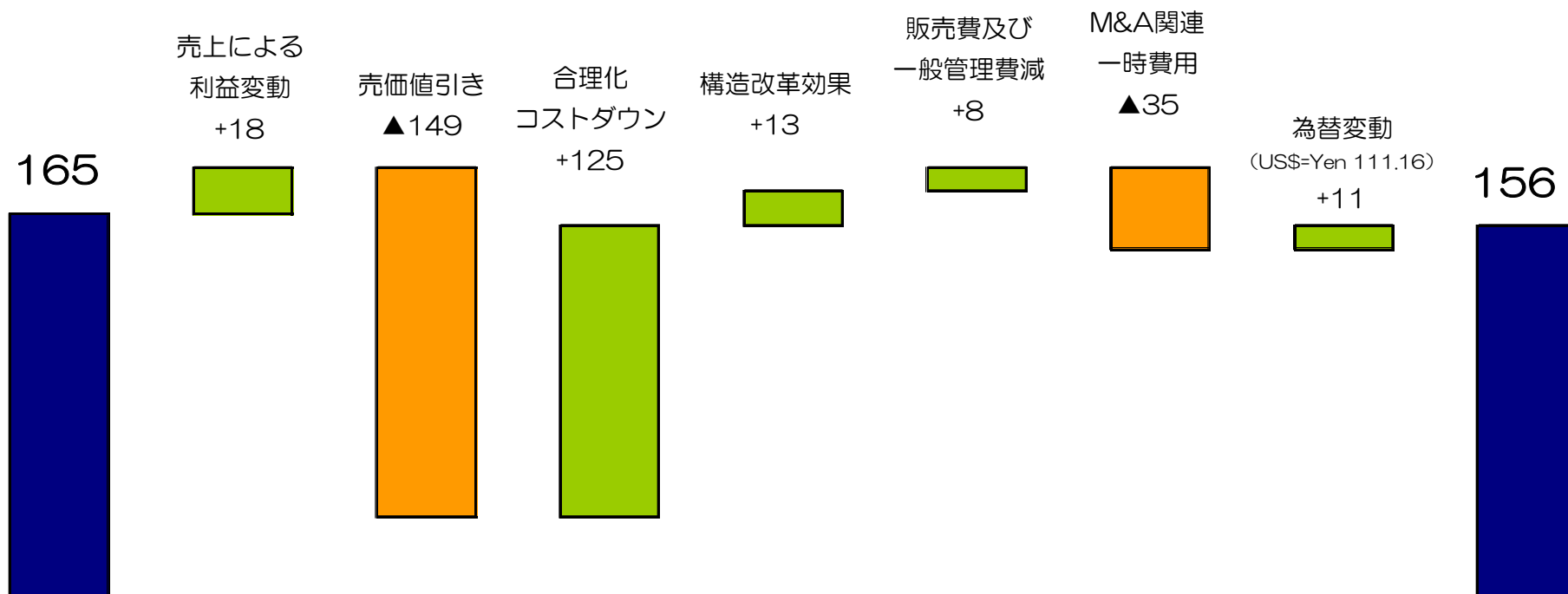
営業利益増減分析

2017年3月期
第1四半期
165億円

営業利益 ▲9億円

2018年3月期
第1四半期
156億円

(単位：億円)



第2四半期の売上高増減イメージ



(億円)

セグメント 区分	2018年3月期 1Q実績	2018年3月期 2Q予想 (対1Q)
受動部品	1,035	+5%~+7%
センサ応用製品	164	+16%~+18%
磁気応用製品	800	±0
フィルム応用製品	797	+7%~+9%
その他	99	—
合計	2,895	+5%~+7%

為替前提

為替レート \$/Yen

111.16

108.00

為替レート EURO/Yen

122.02

118.00

2018年3月期 連結業績及び配当金見通し



(億円)	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 業績予想 (期初公表値)	2018年3月期 業績予想 (修正値)	業績予想対前期比	
				増減	増減率(%)
売上高	11,783	11,100	11,900	117	1.0
営業利益	2,087	800	800	△ 1,287	△ 61.7
営業利益率	17.7%	7.2%	6.7%	-11.0 pt	-
税引前利益	2,117	790	790	△ 1,327	△ 62.7
当期純利益	1,451	550	550	△ 901	△ 62.1
1株当たり利益(円)	1,150.16	435.82	435.79	-	-
配当金	上期：60円 下期：60円 年間：120円	上期：60円 下期：70円 年間：130円	上期：60円 下期：70円 年間：130円	-	-
為替	対ドルレート	108.46	108.00	108.00	-
	対ユーロレート	118.92	118.00	118.00	-
固定資産の取得 (設備投資)	1,676	1,600	1,600	△ 76	-4.5
減価償却費	875	880	880	5	0.6
研究開発費	913	860	940	27	3.0

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2018/1q_1.htm